

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下山を元気にする会
事業主体 (連絡先)	会長 (下山区自治会区長) 新井 健司 (飯田市鼎下山 1136 電話 0265-23-0842)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,399,000円 (うち支援金: 1,659,000円)

事業内容

高齢化が進む中老若男女が、取り組めるスポーツ「ペタンク」を通じ友好と健康増進に役立て、生き生きとした元気な下山区作りを目指した事業を実施。ペタンクの用具5セットの購入とグラウンドへの土砂搬入、木製フェンスの設置、ベンチの設置、看板の設置などを行った。

区内の業者の全面的協力があり予想以上に事業の進捗が早く、6月13日には、完成したグラウンドにおいて「第1回下山区民ペタンク大会」を開催することが出来、区民は大喜びであった。又、7月31日開催の納涼大会も、区民500名参加で嘗てない盛り上がりを見せた。

【写真は新グラウンドでのペタンク大会の様子】



自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

念願のグラウンドが完成し下山区民の喜びはひとしおである。特に高齢者は、近くに憩える場所が出来たということで、その喜びは大変なものである。グラウンド建設中からその様子を見学する区民が多く、完成したグラウンドへの関心の高さが伺える。第1回のペタンク大会には小学生から70代のお年寄りまで200余名の区民が参加しその盛り上がりはものすごいものがあった。下山区民の心が正に一つになった感が強い。自分たちのグラウンドが出来たと言う満足感が漂っている。

【目標・ねらい】

- ペタンクで地域おこし
- ペタンクで友好の輪を
- ペタンクで健康増進を
- ペタンクで地域を有名に

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

ペタンクを中心にスポーツの広場として、区民が気楽に集い、時にはベンチに腰を下ろして心行くまで語り合える場所として位置づけて行きたい。特にペタンクにおいては、区のシンボルのスポーツとして交流人口を増やし、いい指導者も育て、行く行くは大きな大会にも選手を派遣できるようなことも考えている。世界大会があると聞くので、そのような大会に選手が派遣できるような夢も持っている。一つ課題はグラウンドに日陰がないので近い将来木々を植えて日差しをさえぎることができるような場所も造って行きたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。